

## ニュージーランドでの生活

遠軽高校2年 高桑 彩

私の目標はニュージーランドの文化を知ることと友達をたくさん作ることでした。

最初に成田空港で飛行機が3時間遅延するというハプニングがあり、それがこの後の予定に影響することになりました。大人たちは焦っていましたが、私は成田空港をゆっくり見て回れてちょっと嬉しかったです。

ホストファミリーとは学校の前で会う形となりました。私のホストファミリーは4人家族の温かい家庭でした。ホストファミリーとは折り紙で一緒に遊んだり写真を見せたりしながらコミュニケーションをとりました。上手に伝えることは難しかったのですが、表情やジェスチャーで頑張りました。休日はお買い物に出かけたり家のプールで遊んだりして楽しい時間を過ごしました。そんな楽しい思い出のホストファミリーとの生活ですが、驚いたこともたくさんありました。中でも一番驚いたのは車が電気自動車だったことです。日本では全く見かけなかったので私にとってはとても珍しいものでした。ニュージーランドでは普通のことらしく、町の駐車場には車の充電スタンドがありました。環境に優しいので日本の車も全て電気自動車にするべきだと思いました。

日本とニュージーランドは違うところがたくさんありました。例えば植生や生き物、生活習慣などです。車やバスで外を見ていると日本にはないものがたくさん見れて面白かったです。ニュージーランドのものはとにかく大きかったです。木になっていた松ぼっくりが日本の5倍くらいの大きさで驚きました。また、生活習慣に関しては、ニュージーランドでは3食しっかり食べるのではなく、朝、昼は軽く食べて夕食を多く食べるといった感じがしました。朝、昼を軽食で済ませるのにはちゃんと理由があります。それは、10時にモーニングティータイムがあるからです。モーニングティータイムはクッキーやミートパイを食べながらおしゃべりを楽しむもので私も学校で体験しました。ちょっとしたリフレッシュになって体にも心にも良いので日本も取り入れるべきだと思います。さらに、ニュージーランドの人はスマホやゲームより外に出て体を動かす方が好きなようで、家ではバスケットやトランポリンで遊んだり、休日にはテニスに行ったりしていました。私は体を動かすことが好きなので、この生活を楽しむことができました。色々な違いがあつてとても勉強になりました。

日本と離れ、言語も気候も違う場所での生活はたくさんの発見がありました。どれも一生の思い出です。留学の関係者様方、事前研修で英語を教えてくれたオリバー先生、たくさんの愛と驚きをくれたホストファミリー、そして背中を押してくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。